



明治七年十一月三日夜大阪
 安治川町で強盗を追ふ
 捕吏の敷多平向三介
 加茂の文次郎 振及神戸の
 竹次郎 捕板谷三千前後の 壯者をして 明方
 にて大金を奪ひ人を害し大阪に逃れ来り
 悪徒多り安治川王木鎌田の両家へ潜伏
 を取圍む兇賊の長が刀切先を白ひかく群る
 捕手の手負深手の血煙り風が紅葉をまろけ
 実争續く荒手の中天網のくろく事協え
 文次郎の捕多り残る兩人の水を浴り行
 を知らず嗚呼暴悪いよさ窮迫至らぬと
 踏跡を縮んぬと決まりと報知五百十六号
 記せし

文花主人誌

大阪日々新聞紙 九号

海士政
富士政

小島政
海士政

大阪錦画日々新聞紙19号 文庫10-8068-15

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

